



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 平成31年 4月26日



「元気」なあいさつを「自分から」

校長 菅原 透

置賜さくら回廊がまさに“桜花爛漫”、白鷹町の花“こぶし”も咲き誇る春本番を迎えました。美しく可憐に咲く花を愛でる…心が癒され、和みます。

さて、新年度が始まって早1か月。この間入学した1年生も少しずつ学校生活に慣れ、“小学生”という雰囲気(貫禄?!)も出てきました。高学年は、6年生を中心にリーダーとしての自覚が生活の折々に感じられ、とても頼もしいです。

先日、出張のために昇降口を出ようとした時、女子の“メンコちゃん達”とこのような会話をしました。(ごめんなさい…まだ名前を覚えられなくて…)

「校長先生、もうお帰りですか？」

「いや、これから出張に出かけます。」

「出張ですか。がんばってください！」

「いってらっしゃい！！」

すてきな笑顔で送り出してもらいました。ちょっとしたやり取りでしたが、心ポカポカ！うきうき気分になりました。

さすが、荒砥小学校の子ども達です。

毎日、計画委員の子ども達があいさつ運動に取り組んでいます。登校班が学校に到着するたびに「おはようございます」と元気に言える姿に感激しています。私も計画委員といっしょに、あいさつと、おまけに“握手”をさせてもらっていま

す。何気ない一コマですが子どもの姿は十人十色。大きな声であいさつする子、走り寄って握手する子、笑顔で目を輝かせてあいさつを交わす子、もう一つの手を添えて握手する子、小さな声であいさつする子、スーッと通り抜けてしまう子…。私自身嬉しくなったり、ちょっと寂しくなったり…。でも、23日の児童会総会後は高まりが見られ、目をキラキラさせる子が増えてきました。きっと、その日の勉強もがんばれるんだろうなあと心がほっこりしました。

一人ひとりみんな違ってみんないい。でも、たくさんの仲間がいる社会では、温かい言葉がけやあいさつができるのはもっといい。まわりにエネルギーを与えてくれるのはもちろん、自分自身の生き方自体が前向きになるはずですから…。

荒砥小学校は「あいさつ」が自慢です。今年もその伝統を磨きます。お家でも、地域でも、元気にあいさつを交わし、みんなが笑顔になれるようにがんばります。

「さようなら」のハイタッチ！この笑顔がいい！！

